

彼等の哲學書宗教書言語學書等を繙くまでもなく、其語彙の上よりも斷言し得べし。文人國に詩歌の語多く發達し、武人國に武人の語多く繁昌す。希臘語は古代の哲學美術の言語なり。羅旬語は中古の法律、宗教、文學の言語なり。英語の商業に於ける、佛語の社交に於ける、獨逸語は理論に於ける皆それぞれ其人民の長處によりて發達したる者あり。

言語はこれを話す人民に取りては恰も其血液が肉體上の同胞を示すが如く、精神上の同胞を示すものにして之を日本國語にたとへていへば、日本語は日本人の精神的血液なりといひつべし。日本の國體は、その精神的血液にて主として維持せられ、日本の人種は、その最もつよき最も永く保存せらるべき鎖の爲に散亂せざるなり。故に大難の一度來るや、此聲の響くかぎりは、

四千萬の同胞は何時にても耳を傾くるなり、何處までも赴いてあくまでも助くるなり、死ぬまでも盡すなり、而して一朝慶報に接する時は、千島のはても、沖繩のはしも、一齊に君が八千代をこそほぎ奉るなり。もしそれ此のことはを外國にて聞くときは、こは實に一種の音楽なり、一種天堂の福音なり。

かくの如く、其言語は單に國體の標識となる者のみにあらず、又同時に一種の教育者所謂なさけ深き母にてもあるなり。われわれが生るゝやいなや、この母はわれわれを其膝の上にむかへとり、懇ろに此國民的思考力と、此國民的感動力とをわれわれに教へてみくるゝなり。故に此母の慈悲は誠に天日の如し。苟も此國に生れ、此國民たり、此國民の子孫たるものは、たれさてこの光を仰がざる。獨逸にこれをムッター、スプラッハ、或はスプ